

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 池田高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年5月27日(火) 13:30~15:30
- 3 開催場所 池田高等学校 第一会議室
開催にあたり、委員による校内施設見学と授業参観を実施した
- 4 参加者

会 長	小林 月子	サンビレッジ国際医療福祉専門学校顧問
副会長	西川 昭	地域商工会議等代表 (欠席)
委 員	高橋 利行	池田町教育長 (欠席)
	岡田 勝彦	神戸町教育長
	河村 茂雄	池田町立池田中学校長
	井上 誠	神戸町立神戸中学校長
	國枝 正義	池田町上田区長
	高橋あゆみ	神戸町立北小学校読み聞かせボランティア
	安田 正博	垂井町青少年県指導員
	香田 英一	育友会長
学 校 側	鈴木 彰	校長
	武藤 真理	教頭
	田村由美佳	事務長
	吉田 一臣	教務主任
	三輪 智子	生徒指導主事
	古山 克幸	進路指導主事

5 会議の概要(協議事項)

「令和7年度 教育指導の重点及び学校経営計画」について

意見1: 探究を教育課程の主軸と位置づけ、学校内だけでなく、外部でも発表することが実を結んでいることが実感できる。それを念頭に置きながら、今年もそれを踏襲してさらに進めたいということで、この教育指導の重点及び学校経営計画は、全体として大変よく考えられた内容である。さらに、今後は新しいものも取り入れられるとよい。

意見2: 失敗してもそれもまた学びであるというスタンスで、生徒たちのためにやれることをどんどん提案し、学校と共に実現に向けて取り組んでいきたい。

意見3: 池田高校の特色である探究活動については、我々の世代では経験できなかったことであり、授業を参観するたびに新たな発見がある。大変素晴らしいことであるため、今後も積極的

に進めてほしい。

意見 4 : 離職率という言葉は気になるが、子供世代には、世の中が変化するのに合わせて、必要とあれば仕事を変える、同じところで長く働くということにこだわらないという考え方もあるようであり、高校での探究の時間に自分が自信を持ってやれること、やれたことを、進路に繋げる土台を作り、進学したり就職したりしてほしい。

意見 5 : 道徳教育については、基本的な人権のベースになっている。生徒たちが大きくなった時に、また、自分の子供を持った時に、触れ合う子供の接し方に大きく関わってくるため、このベースとなる道徳教育を推進してほしい。

意見 6 : 授業参観を通して見る生徒たちは、穏やかに誰とでも協働しており、普段からそのような関係の中で授業や学級経営がなされているのだと感じた。本学校経営計画を基に、地域の中学校として歩調を合わせて生徒を育てていきたい。

意見 7 : 学校は居場所でなくてはならないということで、生徒たちが、授業や豊かな活動を通して心を開放していくことのできる環境を作っていくことが必要である。

意見 8 : 池田町には小学校、中学校、高校があり、それから、専門学校がある。池田町にある学校としていろんな形で協力・連携できるとよい。

6 会議のまとめ

第 1 回学校運営協議会では、今年度の本校の教育指導の重点及び学校運営計画を踏まえた学校運営基本方針に対して、全ての委員から承認が得られた。

本校が地域においてどういう役割を果たしているか、役割を果たしてほしいか、またそのためにどのような教育活動を重点とすべきかを、各委員から意見を出してもらい、交流を図った。

本校の教育活動への心強い支援表明や賛同、期待の高さを改めて認識することができた。今回の貴重な助言・提言を基に、今後も引き続き地域の期待に応え魅力ある学校づくりを進めていきたい。